

# 大分県におけるネットワーク・コミュニティの取組

## 小規模集落数の推移

中長期県勢シミュレーションより



☞ 小規模集落は年々増加 (H19: 444→H30: 1,284)

☞ 2025年をピークに減少 (1,588集落 37.2%)

☞ 以降30%台で推移見込

## 【H27～】ネットワーク・コミュニティの構築推進

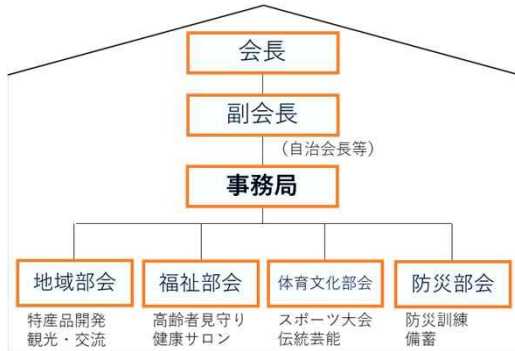
☞ ネットワーク・コミュニティを担う地域コミュニティ組織の設立が県内各地で進んでいる

【ネットワーク・コミュニティに取り組む集落数】

H30.12末時点

項目	大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	合計
地域	3	3	1	3	7	16	-	3	1	5	17	9	3	10	1	-	4	4	90
集落数	72	51	3	12	147	255	-	57	5	74	245	52	25	71	6	-	140	280	1,495

地域コミュニティ組織のイメージ



小学校区単位の複数集落で地域コミュニティ組織を設立

- ☞ 集落機能、生活機能の維持
- ☞ 各団体の活動活性化
- ☞ 新たな取組への広がり

## 【H30～】地域コミュニティ組織広域協議会の開始

【目的】

地域コミュニティ組織の持続的運営サポート

【参加対象】

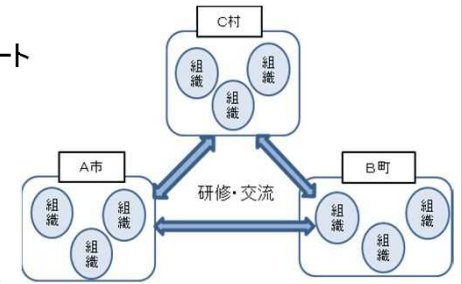
県内の地域コミュニティ組織、行政

【内容】

研修会、交流会、先進地視察 等

【アドバイザー】

大分大学経済学部准教授 山浦 陽一 氏



	日時	内容	開催場所
第1回	5/10	・課題の洗い出し、協議会でできることの整理 参加者: 130名 (62組織、72名)	大分県庁
第2回	8/28	・宇佐市深見地区で現地視察 ・特産品の持ち寄り、意見交換 参加者: 74名 (21組織、45名)	深見地区 地域交流ステーション (宇佐市)
第3回 第4回 (連続)	12/20 2/1	・杵築市向野地区を事例とした 長期まちづくり計画の策定プロセス検証 参加者: 91名 (41組織、50名) ・各組織の1年間の活動振り返りと見直し 参加者: 73名 (31組織、41名)	土地改良会館 (大分市) 大分県庁

【地域コミュニティ組織の課題】

※第1回広域協議会より

1. 人材の確保 (後継者不足、若い世代や女性の参画が少ない 等)
2. 活動資金の確保 (ボランティア活動の限界、役員等の給与確保 等)
3. 地域の関心向上 (住民の当事者意識が低い、参加者が同じ 等)

## 今後の方針

3つの柱を中心に地域の主体的な取組をサポートしていく

- ① ネットワーク・コミュニティの更なる構築
- ② 地域コミュニティ組織の持続的・自立的な運営化
- ③ 地域コミュニティ組織のネットワーク化

## ネットワーク・コミュニティの主な取組

人材の確保	活動資金の確保	地域の関心向上
<p>○別府市 【ひとまもり・まちまもり協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体や団体等が連携・協力する組織として設置</li> <li>中部の協議会では共同温泉の大掃除を業者に委託し、維持管理の負担軽減</li> <li>上記以外に市職員による「地域応援隊」も活動</li> </ul> <p>○中津市 【地域おこし協力隊による伝統芸能再開(山国)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>任期終了した地域おこし協力隊が偉人「毛谷村六助」の魅力を知ってもらったため、自宅を六助資料館に改装</li> <li>地元有志とともに、かつて山国町で行われていた「六助太鼓」を再開</li> </ul> <p>○日田市 【集落の移住受け入れ体制整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移住者を歓迎し、受入れから移住後の支援まで丁寧に行う地域を「移住受け入れ地域」として認定、移住者へ情報提供</li> <li>認定制度により、集落の新たな担い手確保のために移住者を受入れる機運を醸成</li> </ul> <p>○佐伯市 【子育て世代の地域活動への参画(青山)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代への世代交代が課題となっている中、子育て世代が興味を持ちやすい「パン作り」に焦点を当て、工房を整備</li> <li>地域内の子育て世代が整備をきっかけにパン作りや祭りでの販売を通して地域活動に参画</li> </ul>	<p>○大分市 【応募型事業の活用(木佐上)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「あなたが支える市民活動応援事業」を活用</li> <li>地域内外の交流促進のために、活動資金の確保に取り組む</li> </ul> <p>○臼杵市 【エゴマを活用した特産品の開発(都松)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者でも取り組みやすく付加価値が高いエゴマ油を製造し、ふるさと納税の返礼品に指定</li> <li>【市主導の地域振興協議会設立支援】</li> <li>H21～地域振興協議会の設立支援(16/18地区)</li> <li>設立記念補助金など協議会に対する財政支援</li> </ul> <p>○杵築市 【空き家を活用した外国人観光客の確保による活動資金の仕組みづくり(朝田)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源である空き家を改修し、地域内企業JTCと連携したツアー客への食事提供(年4回)</li> <li>今後は宿泊体験も視野に入れた活動へ拡大</li> </ul> <p>○宇佐市 【ふるさと納税を活用した個々の協議会PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税の納付先として個々の協議会が指定できる仕組みとし、活動資金確保に向け地域住民のやる気向上</li> <li>【市主導の地域振興協議会設立支援】</li> <li>H20～まちづくり協議会の設立支援(17地区)</li> <li>地域おこし協力隊員を事務局に活用</li> </ul>	<p>○竹田市 【市内全集落の実態調査を踏まえた地域コミュニティ組織のあり方検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部有識者を招聘し、自治会長、公民館長などの地域関係者へアンケート調査を実施</li> <li>竹田市にあった地域コミュニティ組織のあり方を検討し、全地域と方向性を確認</li> </ul> <p>○豊後高田市 【地域の協同による支えあい活動の展開(三重)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO法人三重の郷が主体となり、地域交流活動と生活支援活動を実施</li> <li>100円食堂(ふれあい食堂)はその一環で実施</li> <li>また地区内の夷谷温泉に直売コーナーを設置し、地域産物の販売を開始</li> </ul> <p>○由布市 【多彩な活動メニューで多世代交流を促進(大津留)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おおつるマーケットやみんなの食卓、しゃべり場かじか等を通じた地域住民の交流促進</li> <li>企業や教育機関とコラボし、農業収穫体験等を通じた地域住民との交流促進</li> </ul> <p>○津久見市 【住民主体の災害に強い地域づくり(青江)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の地域は自分で守るという考えにたち、独自に避難訓練などに取り組み、要援護者の避難訓練などを実施</li> <li>地域を盛り上げるために自治組織が集まり「つくみ山桜祭り」を実施</li> </ul>

## ネットワーク・コミュニティの主な取組

人材の確保	活動資金の確保	地域の関心向上
<p>○宇佐市 【地域おこし協力隊の起業支援（深見）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の担い手として期待される地域おこし協力隊が起業、定住できるよう、空き家や関連業者の紹介等を通じた寄り添う支援を実施</li> <li>H30.10軽食カフェ「深見堂」をオープン</li> </ul> <p>○国東市 【地域包括ケアシステムと連携した地域づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市が社会福祉協議会に委託し、地域支えあい推進員を派遣、戸別調査への協力や計画策定サポート</li> <li>竹田津地区では、くらしのサポートセンター「かもめ」を立ち上げ、住民主体でカフェ等を運営</li> </ul> <p>○姫島村 【ITアイランド構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IT企業2者を呼び込み、人材育成を図る「姫島ITアイランド構想」を加速</li> <li>IT産業拠点「姫島ITアイランドセンター」に共有オフィスを設置し、新たな企業の進出を図るとともにスマートコミュニティにも取り組む</li> </ul> <p>○玖珠町 【住民との意見交換による課題解決の実施（八幡・プロジェクトY）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ組織が積極的に地区住民と意見交換を行い、課題解決を図る</li> <li>初年度は若手の多い消防団から開始し、現在は大学生を巻き込み実施</li> </ul>	<p>○日田市 【中津江むらづくり役場の開設（中津江）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部アドバイザーを活用し地域コミュニティ組織の設立に向けた住民の機運醸成</li> <li>計3回のワークショップを経て、H30.10地域コミュニティ組織「中津江むらづくり役場」を発足</li> </ul> <p>○佐伯市 【ミカンの木オーナー制度（西上浦）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域外に対し、西上浦地区内のミカンの木オーナーを募集、オーナーは命名された木になったミカンの収穫ができる</li> <li>申込金は振興協議会の収入となり活動資金へ</li> </ul> <p>○豊後大野市 【協議会婦人部による加工品開発（上緒方）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Aコープ空き店舗を農協から借り受け、地元女性有志で「なごみ茶屋」をオープン（H30.7）</li> <li>日替わり弁当等の提供や規格外品の野菜を使ったポテトチップス・かりんとう等の販売</li> </ul> <p>○日出町 【まちづくり支援制度の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治区又は複数の自治区の合同組織が当該組織内でのまちづくりの協議を行い作成する「まちづくり計画」に基づいて行う事業に係る費用に対する助成を実施</li> </ul>	<p>○臼杵市 【地域資源を活用した大漁まつりによる多世代の交流促進（深江・上浦）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海に面しており、地域資源を生かした地引網体験や魚のつかみ取り体験などインパクトのある内容で市内外から1,000名超を呼び込むイベントを毎年実施</li> </ul> <p>○杵築市 【全住民の声を踏まえたまちづくり計画の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年間の長期まちづくり計画策定の際、15歳以上の全住民へのアンケート調査を実施</li> <li>そのアンケート結果を踏まえ計画を策定し、策定した計画を全集落へ丁寧に説明を行うことで、地域住民へ活動を浸透</li> </ul> <p>○宇佐市 【ハッピーアイデアチャレンジ部会の設置（北馬城）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部会役員等での発案には限界があり、地域に当事者意識を持たせることを目的に開催</li> <li>○参加条件がなく誰でも希望すれば参加可能</li> <li>○自由にアイデアを出し合い、話し合い決定したものを実践していく</li> </ul> <p>○九重町 【耕作放棄地の活用による交流人口の創出（野矢）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民と野菜作り、空き家や耕作放棄地を有効利用する取組を実施</li> <li>耕作放棄地を活用し、農業を体験したことのない都会の参加者を中心とした固定種野菜作りや里山で楽しめる田舎体験による、交流人口の増加と田舎の魅力発信</li> </ul>